

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	硬化剤 青
会社名	株式会社創新
住所	東京都豊島区上池袋4-11-16ノックストールビル3階
電話番号	03-3918-3100
Fax.番号	03-3918-3511
推奨用途および使用上の制限	硬化剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険	有機過酸化物	タイプE
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷・刺激性 皮膚刺激性	区分2 区分1
環境に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない	

シンボル

注意喚起語
危険有害性情報

警告
熱すると火災のおそれ
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。 ・他の容器に移し替えないこと。 ・涼しいところに置くこと。 ・容器を接地しアースを取ること。 ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 ・取扱い後は手、顔をよく洗うこと。 ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
応急措置	<ul style="list-style-type: none"> ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 ・火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。 ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ・眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。 ・皮膚に付着した場合: 多量の水/(石鹼)で洗うこと。 ・皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。 ・汚染された衣類を直ちにすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管	<ul style="list-style-type: none"> ・換気の良い場所で保管すること。 ・適切な温度を超えない冷所で保管する。 ・隔離して保管すること。
廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
-------------	-----

化学名または一般名	濃度 (%)	CAS番号	化審法 公示番号	安衛法(閾値)		PRTR法	毒劇法
				表示	通知		
ベンゾイルパーオキシド	47.5	94-36-0	3-1349	≥1%*1	≥0.1%	非該当	非該当

*1 2016年6月1日改正安衛法施行後対象

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。 気分が悪いときは医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ、または取り除く。 皮膚を石鹸と多量の流水またはシャワーで洗う。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診察/手当を受ける。
眼に入った場合	水で15分間注意深く洗う。その際、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中をよくすすぐ。 気分が悪いときは、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、散水、泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	本品は引火点以上に予備加熱することにより、着火源の存在下で着火します。乾燥されることにより着火しやすくなります。 火災によってCO ₂ 、CO等の有害性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	関係者以外の立入を禁止し、消火作業をするものは必ず適切な保護具を着用する。 消火作業は可能な限り風上から行う。 火災から安全な距離を確保して消火活動を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。
保護具および緊急措置	漏洩区域として隔離し、関係者以外の立入りを禁止する。
環境に対する注意事項	流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。
回収・中回	適切な吸収剤で吸着させ或はスコップ等ですくい取り適切な容器に回収する。
封じ込め及び浄化方法・機材	適応される規制に従って廃棄する。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火炎の禁止)。 漏出物でのスリッパに注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
安全取扱い注意事項	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の適切な保護具を着用する。 皮膚、衣服への接触を避け、眼に入らないようにする。 取扱い後に手、顔等をよく洗う。 換気の良い場所で取り扱う。
保管	
保管条件	涼しくて乾燥した場所で保管し、混触危険物質から隔離する。 密閉容器内に保管し、熱源、着火源から隔離して保管する。
容器包装材料	オリジナル容器に保管する

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 (作業環境評価基準)	未設定		
許容濃度		日本産業衛生学会	ACGIH(TWA)
	ベンゾイルパーオキシド	—	5mg/m3

設備対策	適切な気中濃度を維持するために、局所排気装置等で適切な換気をおこなうこと。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な換気が得られない場合は、適切な呼吸器保護具を着用する。
手の保護具	適切な保護手袋を着用する。
眼の保護具	飛散の恐れのある作業ではゴーグルタイプの保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	適切な長袖保護服を着用する。
衛生対策	休憩前、作業終了時に手を洗う。眼、皮膚への接触を防ぐ。緊急シャワーと洗眼設備を作業場所に設置し利用できるようにする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	ペースト、青色
臭い	エステル臭
融点・凝固点	103°C
沸点、沸騰範囲	100°C
引火点	84°C
燃焼/爆発範囲（空气中）	上限 情報なし、 下限 情報なし
蒸気圧	<1mmHg (20°C)
蒸気密度（空気=1）	空気より重い。蒸気は床面に滞留する。
比重	1.2
溶解度	低: 10-49%
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
発火点	情報なし
粘度	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
安定性	通常の取扱いでは安定。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	汚染
混触危険物質	強酸化剤、アルコール類、アミン類、強アルカリ
危険有害な分解生成物	CO ₂ 、CO、炭化水素

11. 有害性情報

成分の有害性情報

急性毒性	
経口	情報なし
経皮	情報なし
吸入	情報なし
皮膚腐食性/刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷/刺激性	ベンゾイルパーオキシド : 眼刺激性 区分2
呼吸器/皮膚感受性	ベンゾイルパーオキシド : アレルギー反応を起こすおそれ、 皮膚感受性 区分1
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器(単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器(反復ばく露)	情報なし
吸引呼吸器有害性	情報なし

12. 環境影響情報

成分の環境有害性情報

生態毒性	情報なし
------	------

残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	容器は関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報 : IMOの規定に従う。 UN No. : 3108 Proper Shipping Name : ORGANIC PEROXIDE TYPE E, (DIBENZOYL PEROXIDE) Class : 5.2 Packing Group : ー 航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。 UN No. : 3108 Proper Shipping Name : ORGANIC PEROXIDE TYPE E, (DIBENZOYL PEROXIDE) Class : 5.2 Packing Group : ー
国内規制	陸上輸送情報 : 消防法に従う。 海上輸送情報 : 船舶安全法に従う。(IMOに準拠) 航空輸送情報 : 航空法に従う。(ICAOに準拠)
特別安全対策	転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 直射日光を避けて輸送する。
緊急時応急措置指針番号	145

15. 適用法令

化審法	特段の規制なし
安衛法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 : ベンゾイルパーオキシサイド
化管法(PRTR法)	非該当
消防法	第4類 第3石油類 非水溶性

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。